

(佐久地域)

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域 ちきゅうのえのぐ こどもミュージアム
事業主体 (連絡先)	こどもヘンテコまほうラボ 長野県北佐久郡軽井沢町 1533-9
事業区分	3 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	588,104 円 (うち支援金: 441,000 円)

**事業内容**

1. ワークショップ「地球絵の具づくり～身の回りの自然素材を絵の具にしよう!～」

春・夏・秋・冬 計4回実施

身の回りの自然素材から絵の具つくる工作ワークショップ。

会場：軽井沢町中央公民館、佐久平交流センターの会議室

※春の回は、軽井沢町中央公民館。夏、秋の回は、佐久平交流センター。

開催日：春の回 6/20(日)、夏の回 8/5(木)、秋の回 10/31(日)、冬の回 1/16(日) ※1/16の回はコロナウイルス感染症拡大の為、会場の軽井沢町中央公民館が使用自粛期間となった為、ワークショップ開催を止めて材料を渡して各自自宅で体験してもらう方式で実施した。

参加費：500円(絵の具制作材料、ワークシート代込み)

対象：佐久地域の小学生

参加者数：春 21名、夏 20名、秋 10名、冬 6名

講師：なおやマン(こどもヘンテコまほうラボ。佐久市子ども未来館館長)、しま：アイ(こどもヘンテコまほうラボ)

概要：事前に、自然素材の集め方についての説明と、素材を乾燥する為の材料を、各参加者に郵送で配布。絵の具にしたい自然素材を、事前に参加者に自分の家の近くで採取して郵送してもらい、講師が乾燥製粉を行った。製粉した、えのぐの素の材料を使用して、ワークショップで参加者が各自の絵の具づくりを行った。自然素材から生まれた絵の具が、どんな色か?、想像力を働かせて名前をつけ、作った絵の具で絵を描いて楽しんだ。

年間計4回の「ちきゅうえのぐづくり」でできた絵の具をパンフレット(佐久地域の小学生に配布)にまとめ、佐久地域の小学校1～6年生の児童に配布依頼。WEBサイトでは、こども達がつくった「ちきゅうえのぐ」と絵の具が何から作られたか?、各絵の具の素材となった佐久地域の植物を採取した時の写真を掲載して紹介した。

(別記様式第12号) (第3の8関係)





## 2. みんなの地球絵の具を使って色をつけよう！ペイントワークショップ 春・夏・秋 計3回実施

概要：各季節の「ちきゅうえのぐづくり」ワークショップで出来た絵の具を使い、長野県の駆除野生鹿の革、木材工場の廃棄される端材木材を材料として使用して、季節のちきゅうえのぐで色をつけてストラップを作った。

会場：会場：軽井沢町中央公民館、佐久平交流センターの会議室

※春の回は、軽井沢町中央公民館。夏、秋の回は、佐久平交流センター。

春の回 6/20(日)、夏の回 8/5(木)、秋の回 10/31(日)、冬の回1/16(日) ※1/16の回はコロナウイルス感染症拡大の為、会場の公民館が使用自粛期間となった為、ワークショップ開催を中止(各自家で作業してもらうには適さない工程のある工作の為)にした。

参加費：500円(ストラップ材料費込み)

対象：佐久地域の小学生

参加者数：春 20名、夏 20名、秋 10名

講師：なおやマン(こどもヘンテコまほうラボ。佐久市子ども未来館館長)、しま：アイ(こどもヘンテコまほうラボ)



### **事業効果**

- ・ちきゅうえのぐづくりワークショップ： こども達が生活している近所の自然素材に出会ったり、関わる活動を通して、こども達が、自然と向き合い、今まで気がつかなかった身の回りのものの良さに気が付くことができる機会を提供できた。
- ・「ちきゅうえのぐカラーパレット（ちきゅうえのぐを紹介する誌面）」と「ちきゅうえのぐWEB サイト」：身の回りの自然を、こども達の制作物を通して発信することで、今まで身

(別記様式第12号) (第3の8関係)

の回りの自然に興味を持たなかった人が新たな視点で興味を持つきっかけを提供できた。マップは、佐久地域の約10,500人の小学生に配布。

WEBサイトは、佐久地域の小学生と佐久地域以外の人達に見てもらい、佐久地域の自然に興味関心を持ってもらう機会を提供できた。

#### **今後の取り組み**

今後も、ちきゅうえのぐづくりワークショップを定期的で開催して、子ども達に身近な自然と関わり楽しむ体験の機会を提供していきたい。

#### **【目標、ねらい】**

- ① 参加者の子ども達が、身の回りの佐久地域の植物と出会い、今まで気付かなかった良さに気づくきっかけを作る。
- ② ちきゅうえのぐを紹介する紙面とWEBを通して、佐久地域の子ども達に身の回りの自然や植物に興味を持ってもらう。

#### **※自己評価【B】**

#### **【理由】**

・対面でのワークショップが開催でき、子ども達に体験の機会を提供できたことは、コロナ禍で活動制限の多い状況で少しでも役立てたのではないかと。

・今後、継続して活動することで参加者数が多くなり、事業の効果が出ると考えている。初年度はコロナ禍で中止や自宅での体験に変更せざるを得ない回があった為、予定していた参加者よりも人数が少なくなってしまった。今後も活動を継続していきたい。

### 令和 3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	お母さんが作る場づくりコミュニティ事業
事業主体 (連絡先)	みよたぐらし 長野県北佐久郡御代田町馬瀬口 1597-484
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの復興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,212,592 円 (うち支援金: 1,237,000 円)

●

#### 事業内容

##### 1.ピラティス

ピラティスを通じ、自分の心身に向き合いながらより健やかになる方法を伝えてきた。週1回から始めたところ、10代から70代までの周辺住民の幅広い参加があり、リクエストに応える形で「赤ちゃん連れOKクラス」を新設。コロナ禍でますます孤立しがちな乳児の子育て中のママたちが赤ちゃんを連れて集う場を提供することができた。地元の農家さんから新規の移住者まで、世代も属性もさまざまな方々の交流の機会ともなった。なお、複数の参加者から、BMI指数、腹囲や血圧といった健康指数の改善や、体調・体力の向上、睡眠の質の改善があったと報告を受けている。

時期/2021年6月~2022年3月(計51回)

場所/atelier Rom

参加者/御代田町周辺地域の方々 累計285名



##### 2.アトースクール

乳幼児・幼児の親子を対象に、にじみ絵や季節のてしごとを通して、感覚をはぐくむワークショップを開催。アート活動を通して、自分の時間が取りづらい乳幼児の子育て中のママにマインドフルネスな場を提供することができた。また、孤立しがちな新規移住者の新しいつながりをつくることができた。

時期/2021年5月~2022年3月(計18回)

場所/atelier Rom

参加者/御代田町周辺地域のおやこ 累計90組



##### 3.「MIYOTA ライ麦ストロープロジェクト収穫祭」イベント開催

環境問題に関する勉強会として、おなじく御代田で活動している団体、MIYOTA ライ麦ストロープロジェクトと協働し、実際ストローに使うライ麦の収穫に合わせて、地域の方々に参加しやすく、暮らしに繋がるようなイベントになるよう実施。

プラスチックストローに代わるライ麦ストローの可能性や魅力を知ってもらった。

時期/2021/7/23

場所/atelier Rom

参加者/御代田町周辺地域の方々 約100名



(別記様式第12号) (第3の8関係)

#### 4.お母さんたちの発表会「mother's craft market」イベント開催

出産、育児などのライフイベントにより、キャリアを分断されやすい女性たちが、子育て中、子育て後にも、社会と接点を持てるよう、“やってみたい”という気持ちが実現できるようサポートした。

3日間の開催、合計7組のお母さん作家さんたちに参加してもらった。

時期／2021/8/6.7.8 計3日間

場所／atelier Rom

出店者／Lawn、solosolo、atelier yurayumaiyu、かざるはなつくるはな、harmoniaroma、TAOZ、coloris

参加者／御代田町周辺地域の方々 約60名



#### 5.全5回薬草勉強会 開催

\*コロナの状況により、地域の食文化を継承するWSの開催が難しく、代わりに実施。

豊かな地域の、薬草という資源を生かし、古くから伝わる知恵をみなでシェアする。

時期／2021/11/20 12/18 2022/1/15 2/26 3/5

場所／atelier Rom

参加者／対面12名、オンライン5名

参加費／対面3000円、オンライン2000円



#### 6.御代田大会議 オンラインイベント開催

御代田町で活動する各団体の活動内容をお互いに知り、代表の方と、その周辺の方々の懇親会を実施。

\*コロナの状況により、人数も多く対面での開催が難しいためzoomで実施。

時期／2022/2/19

参加団体／おもがえる、はぐみ館、ふれあいファーム、ミヨタデザイン部、御代田の根、MIYOTAライ麦ストロープロジェクト 合計6団体

参加人数／35名

#### 【目標・ねらい】

- ①移住者と地元の方をつなぐ場所にする
- ②多世代が集まれる場所にする
- ③子育て世代に寄り添う活動内容
- ④暮らしを通じて環境問題を考える

#### 事業効果

①薬草勉強会では、地元の方が実践し、繋げて来てくださった暮らしの知恵を知ることができ、フィールドワークを通して、御代田町の豊かな自然を体感することができた。

②ピラティスクラスでは、老若男女、ご年配の方から、小さな赤ちゃん連れのお母さんまで、需要が多くあり、途中クラスを増設して開講することができた。姿勢がよくなったり、体調が良くなったりと健康促進への手助けになっている。

③アートクラスにて、子どもと丁寧に向き合える時間を持てたり、子育ての中でのヒントを得ることができたりと、孤立しがちな赤ちゃん連れのお母さんたちの憩いの場となった。

④MIYOTA ライ麦ストロープロジェクト収穫祭において、マルシェやワークショップを通して、プラスチック製品としてのストローに代わる、ライ麦ストローの良さをみなで体感することができた。

### 今後の取り組み

1.ピラティス

健康促進のため、持続していけるようにクラスを開講する。

2.アートスクール

親子が心落ち着いて過ごせるよう、引き続きクラスを開講する。

3.MIYOTA ライ麦ストロープロジェクト収穫祭

引き続き御代田町での活動が浸透するように協働していきたい。

4.お母さんたちの発表会

お母さん作家さんたちの背中を後押しできるように、持続して開催の場所を設けたい。

5.薬草勉強会

コロナの状況にもよるが、実際に薬草を料理したり、フィールドワークに出かけたりと、暮らしに取り入れるような会を開きたい。

6.御代田大会議

地域団体の横のつながりを作ることで、協働しあえるような会を引き続き開催する。

### 自己評価 B

【理由】

活動初年度であり、コロナの情勢もある中では、かなり満足度の高い活動内容となり、御代田町を始め、周辺地域の方々に認知していただけただのではないかと考えている。

できるだけ対面にこだわってきたが、なかなか大人数でのイベントなどは開催しづらく、また、高齢の方に来ていただくリスクもあるため、これからさらによりよくしていけるような予感を持っている。



### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域を支えるLPガス 保安・防災体験出前教室
事業主体 (連絡先)	長野LP協会佐久支部 (佐久市跡部65-1 佐久地域振興局内 電話0267-63-3450)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	499,877円 (うち支援金396,000円)

#### 事業内容

- LPガス災害対応機器の紹介と使用方法を記載したチラシの配布 375部配布
- 保安・防災体験出前教室の実施  
令和3年6月22日(火) 佐久市立佐久平浅間小学校  
令和3年9月27日(月) 佐久市立中佐都小学校  
令和3年10月12日(火) 小諸市立坂の上小学校  
令和3年10月17日(日) 小諸消防署

##### 【実施内容】

- ・LPガスの基礎知識、液体窒素実験
- ・災害対応機器の活用体験
- ・LPガス災害対応機器紹介チラシの配布
- ・アンケートの実施



【上：液体窒素実験】

【下：炊き出しセット組立体験】

#### 事業効果

- LPガス災害対応機器紹介チラシを活用し、参加者に機器活用方法を指導し、有事の際の有効活用への理解を深めた。
- 保安・防災体験教室ではLPガスの特性及びその活用方法を分かりやすく説明するため、内容をパワーポイントにまとめ、所々でクイズ並びに質疑応答のやりとりをしながらの授業により、理解への手応えを感じることができた。その後のアンケート結果では、98%以上の参加者においてはLPガスが災害時に強いエネルギーであることが理解できたとの結果を得た。
- 出前教室の活動範囲を小諸市にまで広げることができ、広域的な地域防災力の向上に繋がった。

##### 【目標・ねらい】

- ①災害対応機器活用方法の周知
- ②LPガスの基礎知識への理解度を高める
- ③出前教室の活動範囲を広げ、地域防災力の向上に繋げる

##### ※自己評価【B】

##### 【理由】

- ・保安・防災出前教室が広域的に実施できた。
- ・教育機関並びに消防署を通じて地域に防災に対する取り組みを支援できた。

#### 今後の取り組み

保安・防災出前教室を広域的に実施していくことを軸に、そこで得た知識をさらに災害時に生かしていくため、各市町村へ備えてあるLPガス災害対応機器の使用方を指導できる事業所を知ってもらい、災害時の有効活用に向けて地域住民や各自治体の担当者に習得してもらえるよう積極的に活動を推し進め、地域防災力向上に繋げていきたい。

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	常和を元気にする復興まちづくり事業
事業主体 (連絡先)	佐久市 常和区 (佐久市常和 1728)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	541,461 円 (うち支援金 : 433,000 円)

### 事業内容

佐久市常和区では、台風 19 号により住宅の損壊、浸水被害、農地への土砂流入、山林の崩壊など過去に例のない大きな災害が発生した。

安心・安全に暮らし続けることのできる地域をつくるため、住民が主体となって**地域防災力の向上**や**コミュニティの再生**に取り組む。

1. 広報・災害伝承活動  
復興まちづくりだよりの発行 : 6 回
2. 避難体制の強化  
防災活動マニュアルの作成
3. 復興拠点の整備  
つつじ公園、サクラソウ群生地の整備

### 事業効果

- ① 定期的にまちづくり活動の状況を全区民や関係機関、マスコミなどに情報発信することができた。
- ② 地域独自の取組みとして、災害時の行動基準となる「常和区防災活動マニュアル」を作成した。
- ③ 区内外から多くの人々が参加(約 920 名)し、復興拠点となるつつじ公園の拡張やイベント(復興大根祭り)を開催できた。また活動を通じて耕作放棄地を活用した新たな取組(白山神社西エリアの整備)につなげることができた。

### 今後の取り組み

災害復旧工事が行われる約 4 年間において、地域の防災力を向上させるために自主防災組織の強化や地域独自の避難体制の構築に向け、活動を継続していく。

また、地形的な特性から将来同様な災害が発生するおそれがあるため、気象データや災害当時の様子などを世代へ伝承するための取組み(復興誌の編集)を進める。

楽しみながらまちづくり活動を続けていくために、復興拠点に多くの人々が集り、喜んでもらえるようなイベントも行っていく。



### 【目標・ねらい】

- ① 住民への情報提供
- ② 自主防災組織の体制強化
- ③ 地域コミュニティの活性化

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

- ・ 広報紙や SNS により地域の取組みを発信できた。
- ・ 復興拠点に多くの参加者が集い、地域の活性化につながった。

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域の防災強化事業
事業主体 (連絡先)	岩村田連合商店会 長野県佐久市岩村田 765-1
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,876,600円 (うち支援金: 1,501,000円)

### 事業内容

家族間・地域間での防災意識を深め、防災活動を通じたコミュニティの形成、被災対応時の結束力を高める拠点として子供から大人まで広く、防災について学ぶ場づくりを実施。

時期: 令和3年6月～令和4年3月

場所: 浅間地区小学校、中宿おいでなん処

参加者: 約150名 (学生、地区・企業防災担当者)

実施内容

- ・地域防災についての説明
- ・避難状況に合わせた防災グッズの実演 (浄水器、発電機、衛生用品等の実用体験)



【小学校での様子】

### 【目標・ねらい】

- ①商店街としての防災機能を強化
- ②商店街を利用される地域住民の方々への防災意識の深耕、防災活動を通じたコミュニティ形成への貢献
- ③佐久市との防災連携

### 事業効果

・佐久地域住民の防災意識が高まる事で個々のいのちが守られる自助、佐久市との連携による公助、地域住民の結束力の高まりによる共助、の強化を実践した。

・参加者の80%以上の方々が、参加前に比べ防災への意識が高まったと実感していただいた。

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

・地域での防災リスクに対する様々な説明、避難状況に合わせた防災用品の使用方法などを通じ、参加者の防災に対する意識を深めてもらうことが出来た。

### 今後の取り組み

・令和4年度以降も、周辺地域の方々に継続して実施 (地域防災マップ (佐久市は7種類) に応じた避難グッズセットを展示、防災用品の体験会などイベントの充実) の予定

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然環境・森林環境保全事業
事業主体 (連絡先)	南相木村 南佐久郡南相木村 3525 番地 1
事業区分	(5)環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,201,442 円 (うち支援金 : 2,561,000 円)

### 事業内容

本村の玄関口である川又地籍の地を村民協働により魅力ある観光地に再生する。

また、川又地籍の植栽を通して村民の森林整備への関心度向上につなげ、実際の山林にカラマツの植樹をする森林祭を開催し、再生林の知識を習得。循環型森林資源の確保と山地災害防止など森林環境保全につなげるため、以下の事業を実施した。

#### (1) 川又地籍自然環境整備

村民に整備方法について意見を募集。

樹木の伐採を行い村民協働で花木の 110 本植栽(イロハモミジ・つつじ・花桃)、防獣柵の設置。

#### (2) 森林祭

村民へ森林学習、植樹指導、木工体験を行う。  
村有地にカラマツ苗木を 1500 本植樹。



【森林祭】

#### 【目標・ねらい】

- ①村内観光施設の利用者増加
- ②花木の植栽、カラマツ苗木の植樹、森林学習、を通して森林環境保全への関心を高める

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

川又地籍を景勝地としての魅力を高めることができたが、観光客の増加までにはつなげられていない状態。今後、成長した花木の情報を SNS 等で発信をしてゆき観光客の増加につなげる。  
森林環境保全への関心について、森林祭のアンケート結果より参加者の多くが森林への関心、理解を深められたと考えられる。

### 事業効果

- ①川又地籍の樹木の伐採、花木の植栽をすることで本村の玄関口の景観整備ができ、景勝地としての魅力を高めることができた。
- ②両事業とも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため人数を減らしての開催となったが、参加した村民は花木の植栽、カラマツ苗木の植栽、森林学習、木工体験をとおして森林環境保全への関心を高めることができた。

### 今後の取り組み

- ・川又地籍自然環境整備の事業をきっかけとして村民の景観保全に対する意識を定着させて、今後の川又の草刈りや花木の手入れを住民と共に続けていく。
- ・森林環境保全への関心をより多くの村民や村外の山林所有者へ抱いていただくため、森林学習や植樹体験の場を設け森林環境保全につなげていきたい。

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白樺林の保全を目的としたソーシャルビジネスの基盤構築事業 ～白樺を核とした地域ブランドの普及促進に向けて～
事業主体 (連絡先)	信州白樺クラフト製作所 (立科町芦田八ヶ野 1026)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,375,016円 (うち支援金: 1,100,000円)

#### 事業内容

将来に向けて継続的に美しい景観を維持できるよう、白樺林の保全に向けた循環サイクルの構築および白樺を核とした地域ブランドの普及促進を図るため、下記の取り組みを行なった。

1. スキルアップ事業
2. 地域特性を生かしたブランディング構築事業
3. PR 広報事業

#### 事業効果

①白樺樹皮細工の作り手が4名増えた。また、基本形だけでなく名刺入れやブーツなどの応用編の技術も習得することができた。

②ターゲットを明確にし、絞り込みをかけたことでSNSのフォロワーが下記の通り増加した

Facebook: 435%増

Instagram: 231%増

③HPおよびパンフレットともに公開したばかりでまだ十分な反応は得られていないが、さっそくオンラインショップからの注文が入り効果が出ている。今後に期待したい。



【スキルアップ事業の様子】

<目標・ねらい>

- ①白樺樹皮細工の作り手を育成し、技術を習得する
- ②広報戦略を練り、ターゲットを明確にしてファンを増やす
- ③HP およびパンフレットでの周知強化

<自己評価> A

- ・当所の活動目的に理解・共感いただいた上で白樺樹皮細工の作り手になっていただいたことが評価できる
- ・前年度比でつくり手が4名増え、技術を伝えることができた
- ・ブランディング構築事業では、町内に留まらず幅広い地域(上田市・東御市・佐久市・佐久穂町・御代田町・軽井沢町・茅野市・須坂市・安曇野市・塩尻市・伊那市)の住民の協力を得られた
- ・HP およびパンフレット製作により、信州の白樺保全の取り組みを周知する機会が得られた

## 今後の取り組み

今後も下記と連携・協働し、白樺を核とした景観の維持および特産品の開発に注力していく。

### <協力>

立科町産業振興課農林係、長野県林業総合センター、佐久地域振興局、立科町商工会、信州たてしな観光協会、そのほか近隣の事業者

また、白樺高原の植樹の歴史を知らない若い町民や移住者たちにも知ってもらえるよう、情報の整理・発信をしていく。そして、これから先も町民の宝として白樺林を守り、町民が誇れる活動としていく。

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	国有林「大日向遊々の森」ツリーハウス作設
事業主体 (連絡先)	ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン (北佐久郡軽井沢町長倉 5827-136 電話 0267-46-8623)
事業区分	環境保全・景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,012,000 円 (うち支援金: 759,000 円)

#### 事業内容

1. ツリーハウスの設置 (ハード)
2. ツリーハウスにおいて環境などに関するワークショップ等の開催、コミュニティ形成の取り組み (ソフト)
  - a. 「自然との関わり方の時代による変化と、環境問題の繋がりにこれからの社会を考える」(9/12)
  - b. 森の音楽会 ISAK, 大日向ゆうげん荘共演(10/3)
  - c. 風越学園ワークショップ (10/15)
  - d. 軽井沢 Zero One Lab 主催の集まりで、これまでのツリーハウスの取り組みについて発表 (10/16)



【森の音楽会】

#### 【目標・ねらい】

- ① 自然の中で、異なる世代や所属を超えた繋がりを作る。
- ② 気候変動や環境問題に関する啓発活動の場を作る。

#### 事業効果

- ① 合計5回開催されたイベントにおいては、小学生からお年寄りまで合計50人程度の参加者がおり、特に地域内や学生と地域の方々との新しい繋がりができている。
- ② 気候変動に関して、本校生徒と外部講師によるイベントを行い、ニュースレターによって地域に発信した。そのほか、音楽会のイベントでのヴィーガンのお菓子の提供や再利用可能な蜜蝋ラップを通じた環境問題に関する啓発ができた。

#### ※自己評価【 B 】

予定したイベントを全て開催し、さまざまな世代の参加者を得て地域活性化をすることができたから。これから地域との交流をより密接にしていき、工夫された啓発活動をしていきたいという点においてBという評価にした。

#### 今後の取り組み

地域との関わりをより密接にし、ツリーハウスを ISAK ではなく地域の共有地にしていくという部分に注力していきたい。そこで、月に一回の地域との集まりを継続していくことで、所属を超えたコミュニティを形成していく。

また、森は本校と地域の間地点に位置しており、本校の生徒が大日向の森について地域の方から学び、また地域の方が本校生徒の関心のある地球規模の環境問題に関することを共有する機会を作ることができると考えている。ローカルとグローバルの環境問題について関心を高め、学び合うことを通じて環境問題に関する取り組みを進めていきたい。

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	八ヶ岳大自然郷展望櫓設置事業
事業主体 (連絡先)	南牧村 (南佐久郡南牧村大字海ノ口 1051 番地 電話 0267-96-2211)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ハード
総事業費	8,580,000円 (うち支援金: 4,518,000円)

#### 事業内容

当村の主要観光地の一つである八ヶ岳周辺には雄大な景色を一望できる施設・場所がないことから、眺望が良く登山道等へ通じる村道沿いへ展望櫓を設置し、観光地としての魅力向上に取り組むとともに、地域住民に対しても憩いの場の提供や地域の魅力を再発見していただく機会を設ける。

また、地域産材のカラマツを使用することにより、林業振興にも寄与する。

展望櫓設置時期：令和4年2月

#### 事業効果

- ①八ヶ岳周辺の観光地へ新たな観光スポットができたことにより、観光客の増加が期待できる。
- ②八ヶ岳県界尾根登山道・杣添登山道や苔と湧水の南沢遊歩道へ通じる村道沿いへ展望櫓が建設されたことにより、地域住民が地域の魅力を再発見できる機会が増えた。
- ③村内に地域産材のカラマツを活用した建築物が皆無であったため、カラマツ材を活用した展望櫓が建設されたことにより、林業振興に寄与でき、今後カラマツを活用した建築物が増えることが期待できる。

#### 今後の取り組み

今後、JR小海線を利用した観光客の増加も見込まれることから、野辺山駅と展望櫓を結ぶ周遊バスを運行し観光客の利便性を高める取り組みを行う。

また、地域住民向けに展望櫓を中心に八ヶ岳周辺を案内する散策事業を実施し、多くの住民に地域の魅力に触れていただく機会を提供する。その際にマイボトルの持参を呼びかけ、2050ゼロカーボンに向けた取り組みも強化していく。



【カラマツを活用した展望櫓】

#### 【目標・ねらい】

- ①八ヶ岳周辺への観光客の集客
- ②地域住民の八ヶ岳入込数増加
- ③地域産材の活用

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ・観光客や地域住民のために、雄大な景色を一望でき、憩いの場となり得る施設が提供できた。
- ・村HPへの写真掲載や Facebook への投稿により、観光地の魅力向上が図れた。
- ・地域産材のカラマツを活用した施設が初めて建設された。



### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ケーブルテレビを活用した佐久地域PR動画配信事業
事業主体 (連絡先)	佐久広域連合 (佐久市取出町183番地 佐久広域連合事務局庶務課企画係 電話 0267-62-7721)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,775,000円 (うち支援金: 4,620,000円)

#### 事業内容

地元ケーブルテレビ局と佐久地域内情報や周遊モデルコースを提案するPR動画の制作及び配信

##### ①PR動画制作

- ・周遊観光動画をテーマ別(歴史、食、日本一、健康)、それぞれ約15分間の動画を4本制作しました。
- ・約15分間の移住促進動画を移住者4名のインタビューと佐久地域の街の様子を組み合わせ制作しました。

##### ②動画配信

- ・県内及び首都圏のケーブルテレビ局で配信しました。
- ・佐久広域連合公式YouTubeチャンネルでフルスケール版と90秒のダイジェスト版を公開しました。
- ・制作したDVDを関係市町村へ送付しました。

#### 事業効果

- ①約140万加入世帯数のある首都圏ケーブルテレビ局で放送した(R4.3.12 18時~)ことにより、佐久地域を認知度向上につなげ、具体的な周遊観光のイメージ、佐久地域での暮らしを伝えることができました。
- ②佐久地域7町村のケーブルテレビ局に放送してもらうことにより、地域住民に佐久地域の魅力再発見へつなげることができました。
- ③YouTubeで動画を配信することにより、佐久地域だけでなく、全国へ佐久地域の魅力を発信できました。
- ④制作したDVDを関係市町村及び関係団体等へ配布し、観光PRイベント等での活用が期待できます。

#### 今後の取り組み

継続して佐久地域の魅力発信ができるように、ケーブルテレビ局には作成した動画を今後も定期的に放送してもらうよう依頼し、作成したDVDを観光PRイベント等で流すことで活用していきます。

また、YouTubeで公開した動画は、視聴回数が増えるように今後もホームページや広報等でPRしていきます。



撮影の様子



番組タイトル / YouTube 配信

#### 【目標・ねらい】

地元ケーブルテレビ局と佐久地域内の地域情報や周遊モデルコースを提案することにより、地域の魅力再発見と広域的な周遊観光及び移住促進を目的とする。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

事業目標を達成し、今後も継続して佐久地域の魅力を発信するツールが完成したため。